

認知症が気になる方へ

様々な診療科・部門が協力し、検査・診断・治療を行っております。

メンタルクリニック

初診は2週間以内に拝見します。



メンタルクリニックは老年精神医学の専門医療を提供いたします。日本老年精神医学会、日本認知症学会、日本精神神経学会の専門医が在籍しています。メンタルクリニック外来では、認知症の早期診断、早期治療を行います。認知症を起こす疾患は様々なので、その鑑別診断も行います。心理検査、頭部CT検査や頭部MRI検査など画像診断を行い、必要に応じて脳血流検査なども実施します。診断結果に基づき薬物療法や非薬物療法を導入します。また、東京都の認知症疾患医療センター事業にも参画しており、江東区、江戸川区、墨田区を担当するセンターとして、認知症の診断・治療だけでなく、地域連携の充実や医療従事者のスキルアップ、情報発信も行っています。

脳神経内科

レビー小体型認知症外来：木(午前),金(午後)



当医療センター脳神経内科は、御入院なさる患者さんの約65%が神経変性疾患であり、特にレビー小体病(パーキンソン病・レビー小体型認知症など)の方が多いという特徴を有しております。この為、パーキンソン病関連外来に加えまして、木曜午前と金曜午後にレビー小体型認知症外来(担当：志村)を開設致しました。レビー小体型認知症は、記憶障害・認知機能の変動・幻視・レム睡眠行動障害・パーキンソン症状等が認められる病気で、診察・心理・画像所見の結果を踏まえて診断致します。御心配な患者さんがおられましたら、いつでも御相談頂きたく存じます。

脳神経外科

宮嶋外来：火(午前),金(午後)
秋葉外来：木(午後)



脳の中や脊髄の表面を流れる髄液が、脳室に過剰にたまって周りの脳を圧迫することにより、歩きにくさ・物忘れ・尿失禁などが起こる、高齢者特有の病気です。65歳以上の方の50人に1人以上に起こるといわれており、けっして珍しい病気ではありません。大切なのは、これらの症状は手術により治すことができるということです。

耳鼻咽喉科

池田外来：月～金(午前、火のみ午後)



加齢性難聴の特徴は「言葉が明瞭に聞き取りにくくなること」です。認知症の進行のリスク因子として最も重要です。積極的な補聴器の導入によって日常会話を円滑に保つことが、認知症の予防や進行阻止に必要です。当科では患者様に最適な補聴器を選定しています。また、高齢者における突発性難聴では通常のステロイド内服だけでは治療効果が少ないので、入院でのステロイド剤の鼓室内注入(鼓膜に注射して薬を入れます)が推奨されます。

上記診療科のほか、医療サービス支援センター・認知症疾患医療センター含め横断的に対応しております。

ご予約は医事課 予約係

TEL. 03-5857-5111

平日9:00~17:00

土曜日9:00~12:00

※休診日除く

順天堂大学医学部附属

順天堂東京江東高齢者医療センター

